

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
62111	海外行政視察関係事務	議会事務局	総務課	シートA	2
62111	政務活動費関係事務	議会事務局	総務課	シートA	3
62132	市議会議長会等関係事務	議会事務局	総務課	シートA	4

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	議会事務局	課等名	総務課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6646			
	部等長名	渡部 俊明	課等長名	野本 克彦	リーダー名	主幹	中野 泉	担当者名	主任	山本 圭祐	
令和元年度	部局等名	議会事務局	課等名	総務課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6646			
	部等長名	渡部 俊明	課等長名	野本 克彦	リーダー名	主幹	中野 泉	担当者名	副主幹	岡部 寿	主任 山本 圭祐

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	62111	海外行政視察関係事務				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する						重点プロジェクト	-	
施策	地方分権・地方創生に対応する体制の整備					市長公約	主な取り組み	-	
主な取り組み	自主的・自立的な行政の推進								
取り組みの柱	基礎自治体としての自主性・自立性の向上								
総合戦略	基本目標	-				取組み	-	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	議員の海外視察は、姉妹都市、友好都市及び諸外国の都市との友好親善並びに相互理解を深めるとともに、政治、経済、文化、都市事情その他必要な事項を視察調査し、国際性の涵養と資質の向上に努め、その成果を市政に反映させることを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和36年度に、日米市長及び商工会議所会頭会議を目的とした視察を行って以降、姉妹都市の式典等へ視察団としての参加、姉妹都市、友好都市及び諸外国との友好親善並びに相互理解のために事業を開始した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】松山市議会議員 【事業内容】松山市議会議員を代表しての海外派遣及び松山市議会が団を構成して行う海外都市行政視察を実施。 1. 海外派遣は、姉妹都市等の式典などに市の視察団として議長を派遣している。 2. 海外都市行政視察は、松山市議会議員を対象とし、1任期中1回の派遣ができることとしている。期別年齢の上位者から参加の意思を確認し、派遣議員を決定した後、調査研究テーマを決め、事前勉強会を経て視察を実施している。視察終了後は、議場にて団長が視察報告を行い、報告書をホームページで公開している。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 36	～	令和 4	終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	議会費		目	議会費		R元予算措置時期	当初
				H30年度	R元年度		R元年度	R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					8,766		10,087			14,214
決算額(B)(単位:千円)					6,483		9,576			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金		0		0			0
			県支出金		0		0		0	
			市債		0		0		0	
			その他		0		0		0	
			一般財源		6,483		9,576			14,214
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						普通旅費 7,920千円 手数料 632千円 使用料及び賃借料 600千円			普通旅費 11,762千円 手数料 1,140千円 使用料及び賃借料 1,080千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		2,283		511			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・フライブルク姉妹都市提携30周年記念訪問 ・台北市友好交流協定締結5周年記念訪問									
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		姉妹都市との友好親善が図られたほか、本会議や委員会でも海外の先進事例を基に報告等を行い、市政の反映に寄与した。特に、台北市へは、初の国際定期便が就航するということで、議長以下、38名の議員が訪問し、より一層の友好を深めることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		姉妹都市との友好親善を図り、関係機関を訪問することにより、さらなる友好促進・相互交流を図ることができた。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度に視察を実施することができるか不透明になった。また、この影響により、松山空港発着の国際線が運休している。									
R2年度の目標	世界中で感染拡大となっている新型コロナウイルスの今後の動向を注視し、実施の有無について検討したうえで、実施となれば姉妹都市等との更なる交流促進に努める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		・議員海外都市行政視察 ・松山・台北定期便就航1周年記念訪問 ・フライブルク市政900年記念訪問		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの影響により、今年度予定されていた視察や訪問は、中止もしくは来年度に延期になった。令和3年度の円滑な事業実施に向けて、情報収集や意向調査を行う。	

令和2年度	部局等名	議会事務局	課等名	総務課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6646				
	部長名	渡部 俊明	課等長名	野本 克彦	リーダー名	主幹	中野 泉	担当者名	主査	猪木 伸二	副主幹	岩井 佳子
令和元年度	部局等名	議会事務局	課等名	総務課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6646				
	部長名	渡部 俊明	課等長名	野本 克彦	リーダー名	主幹	中野 泉	担当者名	主査	岩井 佳子	副主幹	泊里 篤

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	62111	政務活動費関係事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	地方分権・地方創生に対応する体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	自主的・自立的な行政の推進		市長公約			
取り組みの柱	基礎自治体としての自主性・自立性の向上					
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令, 条例, 個別計画等	地方自治法第100条第14項から第16項、松山市議会政務活動費の交付に関する条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市議会議員の調査研究その他の活動に資するための経費の一部交付を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成12年から政務調査費が制度化され、条例が制定されたことにより平成13年4月から政務調査費の支給が始まった。平成24年9月の地方自治法の改正により、名称が政務調査費から政務活動費に変更となり、要望・陳情活動等、支出できる範囲も拡大された。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】松山市議会議員 【事業内容】各月の1日に在職する議員に対し、月額102,000円を会計年度の半期ごとに交付する。年度終了後、各議員は、政務活動費に係る収入及び支出の報告書を作成し、領収書や領収書に準ずる書類を添付して、議長に提出する。交付された政務活動費に残余がある場合、返還する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 13	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				議会費	項	議会費	目	議会費	当初
現計予算額(A) (単位:千円)						52,020		52,632	52,632
決算額(B) (単位:千円)						42,601		43,614	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金				0		0	0
		県支出金				0		0	0
		市債				0		0	0
		その他				0		0	0
		一般財源				42,601		43,614	52,632
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							政務活動費 43,614千円		政務活動費 52,632千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				9,419		9,018	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	政務活動費の交付及び残余金の返還					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	政務活動費の円滑な交付・返還事務を実施し、市議会議員の調査研究活動に支障をきたすことがなかったため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	松山市議会議員として調査研究活動を行うための必要な経費の一部を支給している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	政務活動費の支出に対する関心が高まっている。					
R2年度の目標	適正な政務活動費の交付を行う。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	政務活動費の交付及び残余金の返還	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	改訂後の「政務活動費の手引」を活用し、これまで以上に適正化と透明性の確保に努めるよう注意喚起を行う。

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	議会事務局	課等名	総務課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6646				
	部等長名	渡部 俊明	課等長名	野本 克彦	リーダー名	主幹	中野 泉	担当者名	主任	山本 圭祐	副主幹	岩井 佳子
令和元年度	部局等名	議会事務局	課等名	総務課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6646				
	部等長名	渡部 俊明	課等長名	野本 克彦	リーダー名	主幹	中野 泉	担当者名	主任	山本 圭祐		

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	62132	市議会議員会等関係事務					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する						重点プロジェクト	-		
施策	地方分権・地方創生に対応する体制の整備					市長公約	主な取り組み	-		
主な取り組み	多様な地域との連携強化									
取り組みの柱	広域連携の推進									
総合戦略	基本目標	-					取り組み	-		
	政策	-								
	施策	-								
総合戦略							(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-		
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し							
根拠法令, 条例, 個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	各種議長会や協議会等に参加することにより、必要な情報の収集、関係各市議会等との相互連携や意見交換を行うとともに、市政に関する諸課題について研究し市政に反映させることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和7年5月に全国市議会議員会が設立され、以降各種議長会や協議会が設立されており、必要に応じ本市も加入してきた。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】 負担金：松山市議会が加入している各種議長会や協議会等 旅費等：議長、副議長等 【事業内容】 本市が加入する各種議長会や協議会等への負担金の支出。 各会議へ出席し、市政に関する諸課題の調査研究及び国、県、関係機関等への要請活動を行っている。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	令和 4			終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	議会費		目	議会費	R元予算措置時期	当初
				H30年度	R元年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					7,838		9,391		8,436
決算額(B)(単位:千円)					6,080		6,760		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金		0		0		0
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		0		0		0
			一般財源		6,080		6,760		8,436
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						各種協議会出席のための旅費 3,688千円 加入協議会等への負担金 3,072千円		各種協議会出席のための旅費 5,200千円 加入協議会等への負担金 3,236千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						なし		なし	
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			1,758		2,631		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	全国市議会議員会副会長として各種会議への出席及び全国市議会議員会正副会長会議の開催市としての事務執行 四国市議会議員会支部長として議長の事務執行 愛媛県市議会議員会会長として議長の事務執行 全国民間空港所在都市議長協議会等の開催市としての事務執行 各種協議会総会等への出席									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	各種議長会への出席、松山開催の会議運営など、当初の予定通り実施できた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		各種議長会又は協議会等を通じて、市政に関する諸課題について、国、県、関係機関等に対し要請活動を行っている。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、新年度早々の議長会関係会議の開催の有無をはじめ、開催方法について検討する必要が生じた。									
R2年度の目標	各種協議会等への出席を通して調査研究、関係団体への意見反映を行うことで、市議会としての役割を果たす。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	各種議長会や協議会等への出席、調査研究等を行う。中でも、本市開催の各種議長会や協議会を円滑に推進する。 中核市議会議員会会長、四国市議会議員会会長、愛媛県市議会議員会会長として議長会事務を遂行する。			特に環境変化、障害、課題等解決のため、R2年度で取り組み改善策		令和2年度に松山市で開催される予定であった議長会関係会議について、新型コロナウイルス感染症対策により中止及び書面会議など開催予定が変更されているが、国、県からの情報を適切に把握し、会議の運営を行うこととする。	